

## 台北市における社区大学の運営の現状と将来の発展

楊碧雲

### 壹、前言

我が国が先進国へと邁進する過程において、全国民の教育水準を上げることは重要な課題である。教育部は1998年3月に出版された「学習社会への邁進」白書の中で、生涯学習社会をつくるという目標を明確に示している。台湾における社区大学の設置は、民衆に新しい知識の追求を薦め、全国民参加の公民社会を創ることを提唱し、全国民の学習する権利を保障し、学習型組織の建設を鼓舞し、もって生涯学習社会の建設を加速させ、21世紀の新しい公民を育てることを目標としている。

我が国における社区大学の設立構想は、1994年の黄武雄・台湾大学数学学科教授の提唱に端を発する。教育改革による社会の再建が、民間教育改革運動の基本理念であり、それゆえ社区大学の推進によって社区を活性化させ、社会のエネルギーを解放し、公民の社会参加能力を育てることが、教育改革運動の新しい力点となった。社区大学運動が本格的に展開し始めたのは、1998年3月である。民間の教育改革に関心を持つ人が「社区大学準備委員会」を組織し、全国各地に社区大学を普及させることに努めた。台北市は初めて「社区大学」を設立した縣市であり、1998年7月から、全国で第一校目の社区大学の設立試行に着手した。このような時代背景の下で、台北市政府教育局と民間の力が連携して社区大学建設を推進し、徐に形を成して行ったのである。

社区大学の設立推進は、「現代公民を育てる」ことを目標にし、学術的な課程と公共参加のサークル活動がその特色であることを強調している。また知識解放、公民社会建設を理想とし、台湾の成人教育に新しい視野を拓いた。社区大学は民衆に知識の視野を広げさせ、個人と社会の繋がりを強化させ、自分の位置を理解させ、一人一人に深くかつ全面的に学習に参加させることができる。

「公共圏を開き、民脈を発展させる」、「社区を活性化させ、社会を再建する」ことは、台北市政府が社区大学を推進する際の重要な理念である。知識を活用する訓練だけでなく、それによって公共圏を開き、民衆が学んだことを社区に生かし、社会に貢献し、生涯学習の最高目標を達成することを更に望んでいる。

台北市社区大学試行の依拠は、台北市政府が立案した「台北市政府試行社区大学実施要点」（1999年7月）である。正式運営後、「台北市社区大学設置暫定施行要点」（2002年11月）を制定してその運営依拠とした。2002年6月に中央政府によって公布実施された「生涯学習法」〔終身学習法〕は、社区大学の定位を明確に規定し、「正規教育体制以外に、直轄市、縣（市）主管機関が自ら或いは委託運営し、社区の民衆に生涯学習活動の教育機構を提供する」としている。よって、生涯学習法は我が国の各縣市が社区大学を推進する際の正式な法律依拠となった。

生涯学習法では、社区大学の主管機関は県市政府であり、県市政府自ら運営或いは委託運営すると規定されている。中央政府と地方政府の重視を得、この7年間、全国の社区大学はその設置数及び学習者人数を増加させ続けている。また学習課題と社会の脈動が結合し、著しい発展をみせた。台北市の社区大学は1校から12校まで増設され、全国各地でも80箇所余りの社区大学が設立された(原住民部落大学12箇所を含む)。また辺境の山地、離島、原住民部落にも浸透し、現在、全国社区大学の各学期の学習者数は10万人近くに及ぶ。その急速な発展は、我が国の終身教育史上に虹のような輝きをもたらし、社区文化の新境地を開拓しただけでなく、全国民の終身教育にかつてない新しい面をもたらしている。

筆者は台北市政府教育局(以下「本局」)に勤め、台北市社区大学(以下「本市社区大学」)の企画と運営の業務に創設から携わり、第1校から第12校までの変遷過程に実際に参加してきた。ここに長年社区大学運営で蓄えた行政経験を整理し、学者や専門家に教示を乞いたい。

## 貳、台北市社区大学の発展状況と経営の特色

### 一、台北市社区大学の創立と発展

台北市は1998年から社区大学委託経営計画を進め、現在では12箇所の社区大学を設立するに至った。その発展は萌芽期、試行期、及び正式経営期など三つの段階に分けられる。各段階に分けて以下に述べる：

#### (一) 萌芽期(1998年9月—1999年8月)

民間教育改革者の社区大学の設置に対する期待と要求に応えるため、本局は1998年7月に社区大学設立法案の推進を開始した。委託研究と試行経営の方式で、財団法人本教育文教基金会に委託し、「台北市社区大学設置企画研究及び試行経営計画」を進め、そして台北市立木柵国民中学校を借りて文山社区大学を一年間試行運営した。学習者の入学条件に学歴制限を設けず、講師も博士学位や教授資格を有するかどうかを、専門能力さえあれば良いとした。この間、計2期の課程を実施し、92種類のクラスを開設し、学習者は1880人、履修人数は2790人であった。学習者の年齢は18歳から84歳までで、その職業は社会の各層に渡る。「教学方法と課程設計研究会議」を2回行い、5つのサークルが正式に成立した。

当研究計画では社区大学を終身教育の一環と位置づけ、その目的は社区の資源と力量を結合し、人文素養、公共性、思考性、生活性を備えた生涯学習課程を提供することである。そして社区意識を有し、社会公共活動に参加する現代的公民を育成することを目標とする。その為、委託研究期間に開設した課程は学術、サークル活動及び生活技能課程を三大主軸にした。

#### (二) 試行運営期(1999年9月—2002年12月)

本局が委託研究の試行運営計画により1998年9月に木柵中学校において全国におけ

る第一校の社区大学を試行運営したことは、台北市民から広く反響を得ただけでなく、全国からも注目を集めた。当初、本局は1999年9月に本市の南北両地域に文山社区大学および士林社区大学の各一校の社区大学設置を計画したが、地域における強い民意に応えるため、再度2000年に南港社区大学及び萬華社区大学の増設を計画し、東西南北の四区全てに設置するという計画目標を達成した。しかし設置数はなお民衆のニーズに及ばないため、本局は2001年8月に大同社区大学及び信義社区大学を再度増設し、2つの行政区に社区大学を1箇所ずつ設置するという目標を達成した。総合すると、本局は正式試行運営期間中、3年間で6つの運営団体を選出し、計6箇所の社区大学を設立した。

台北市政府は1999年7月に「台北市政府社区大学試行運営実施要点」を制定したが、この有効実施期間は三年六ヶ月であり、2002年12月31日に終了した。

- ・1999年9月 文山社区大学、士林社区大学を新設、契約期間三年六ヶ月。
- ・2000年9月 萬華社区大学、南港社区大学を増設、契約期間二年六ヶ月。
- ・2001年9月 大同社区大学、信義社区大学を増設、契約期間一年六ヶ月。

(三) 正式運営期(2003年2月より)、各行政区に1箇所の社区大学を設置

2002年度には本市には既に6箇所の社区大学があつたが、交通の不便なく自分の住む行政区内で勉強できるよう、市民の社区大学増設要望は絶えることがなかつた。それゆえ、台北市政府教育局は民意に応じ、少しずつ経費を増額し、委託運営費用及び講師の時給を下げ、学費を上げるなどの財務計画策を用いて、2003年度に社区大学を6箇所から一挙に12箇所にまで増設し、各行政区に1箇所ずつ社区大学を設置するという理想を実現した。

台北市政府は2000年7月に既に「台北市社区大学設置自治条例」(草案)を制定し、台北市議会の審議にかけたが、2002年6月「生涯学習法」が公布されても、台北市議会にはまだ審議が終わらなかつた。上条例条文の一部を「生涯学習法」に合わせて修正する必要があり、かつ2002年末に公開入札を実施しなければならないので、2002年11月に「台北市社区大学設置暫定要点」を頒布制定し、本市社区大学の正式運営期における法律依拠とした。12箇所の社区大学の運営団体公開入札は2003年1月に、契約手続きは同年2月に完了した。契約は一期を3年とし、3年連続して評価が甲等以上の者は、一回の契約更新ができる。12箇所の社区大学運営団体は表一の通りである。

表一 台北市社区大学運営団体一覧表

番号	学校名	運営団体	設置場所
1	文山社区大学	財団法人台北市社区大学民間促進会	市立木柵中学校
2	士林社区大学	財団法人崇徳文化教育基金会	市立百齡中学校
3	萬華社区大学	財団法人九九文教基金会	市立龍山中学校
4	南港社区大学	財団法人致福感恩文教基金会	市立成徳中学校
5	大同社区大学	財団法人浄化社会文教基金会	市立建成中学校
6	信義社区大学	財団法人光宝文教基金会	市立信義中学校
7	北投社区大学	財団法人台北市北投文化基金会	市立新民中学校
8	内湖社区大学	財団法人愛心第二春文教基金会	市立内湖工業高校
9	松山社区大学	財団法人汎美国際文教基金会	市立西松中学校

10	中山社区大学	台北市私立稻江高等護理家事職業学校	私立稻江介護家事職業高校
11	中正社区大学	台北市私立開南高級商工職業学校	私立開南商業工業職業高校
12	大安社区大学	台北市私立開平高校	私立開平高校

## 二、台北市社区大学基本運営モデル

### (一) 法律依拠

台北市社区大学設置の法律依拠は、中央政府頒布の「生涯学習法」第九条の規定及び台北市政府制定の「台北市社区大学設置暫行要点」である。

### (二) 運営理念

台北市社区大学の設立理念は、人文素養及び生活知能、社会の健全たる公民を育む生涯学習課程を提供し、かつ市政発展の需要に合わせ、現代的な公民学習過程を開設する。

### (三) 運営方式

公設民営の運営方式により、公開選抜方式（資格審査及び経営計画審査の二つの段階）により、民間団体（法律によって登記された財団法人或いは公益社団法人）に委託して運営する。

### (四) 行政組織

- 1、主任を一人置き、行政組織の運営〔運作〕、課程計画、講師の招聘等の事務を管轄する。
- 2、教務、学務、情報、総務、社区服务等の専門員を設け、部門を分けて運営する。
- 3、その他に、各社区大学の行政的な需要に応えるために、顧問、副主任、主任秘書、ボランティア隊長等の職位、及び校務発展委員会、課程審議招聘委員会等の各種委員会を設ける。

### (五) 設置場所

本局は中学校、高校を社区大学運営地点とし、資源共有の方式によって運営することを計画した。昼間に学校の学生が使う教室は、夜には社区大学の成人学習者が学習する場所となる。本局は、委託団体と社区大学協力運営校が「協力ケース備忘録」〔合作專案備忘録〕を結ぶことに協力する。その他に、定期的に行政協調会議を開き、空間及び設備使用、門限管理等の事項について調整を行い、以って互いの意見交流、協力関係の永続的な発展を促す。

### (六) 入学資格

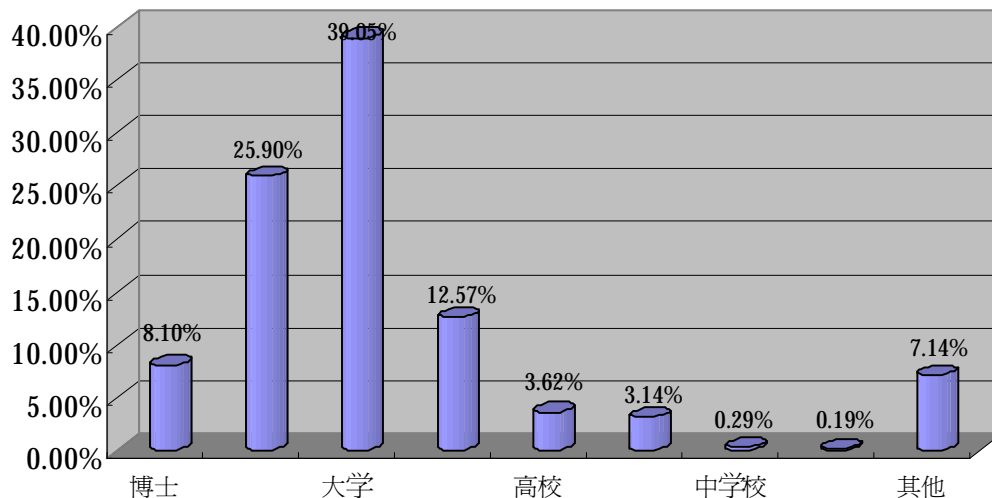
満十八歳以上なら誰でも参加できる。入学試験や、学歴及び戸籍の制限はない。

### (七) 週の授業数と時間

本市社区大学は原則的に、毎年を二期にわけ、それぞれ3月初め及び9月初めに授業を開始し、各期の開講期間は原則的に18週とし、各課程は毎週3時間とする。その他、6週、12週等、短期の課程を開設することもある。授業時間は平日夜7時から9時30分まで、土曜は午前9時30分から12時、及び午後2時から4時30分を主な授業時間帯とする。

(8) 講師招聘

現在本市社区大学の講師には特に厳格な制限を設けず、当学科の専門知識或いは実務経験をもつ者なら、招聘され講師になることができる。講師資格及び資格招聘制度は、各社区大学が各自で制定する。講師の学歴について、修士以上の学歴をもつものは34%を占め、学士学位をもつ者は39.05%、専門学校以下(専門学校を含む)は26.95%を占めている。2004年度講師学歴の分布図は、図一を参照のこと。



図一 2004年度台北市社区大学講師学歴分布図

(九) 課程設計

台北市社区大学の課程設計の基本理念は、「台北市の社区大学設置における企画研究及び試行運営計画」委託研究報告書(「台北市設置社区大学規劃研究暨試辦計畫」委託研究報告書)によって設定され、課程設計は学術課程、生活技能課程、サークル〔社團〕活動課程等の三大課程に分ける(詳しくは表二)。

表二 台北市社区大学課程分類一覽表

課程分類	目的
学術	人文科学、社会科学、自然科学等を含める。学術課程は知識を広げ、思考分析能力、理性判断の能力を育むことができる。
生活技能	実用的な技能を学習し、仕事の能力及び生活の質を高める。
サークル活動	公民が社会公共活動に参加する能力を育み、社会に対する関心を引き起こし、参与によって社区意識をまとめ、公民社会に邁進する。

(十) 学費に関する規定

申込料は一人200元(台湾ドル)、学習者証〔学員證〕製作費は100元である。学費は現在課程ごとに週3時間、18週(計54時間)、計3000元を基準とする。その他に各課程の必要に応じ、材料代、クーラー代、パソコン設備保守費等の費用は、「台北市社

区大学集金返納均一性規定」によって執り行う。

台北市の各社区大学は相次いで現代公民学程等の学費優遇課程を企画し、低収入及び身障者証明を持つ人、原住民等には各種の学習費雑費減免措置を取っている。

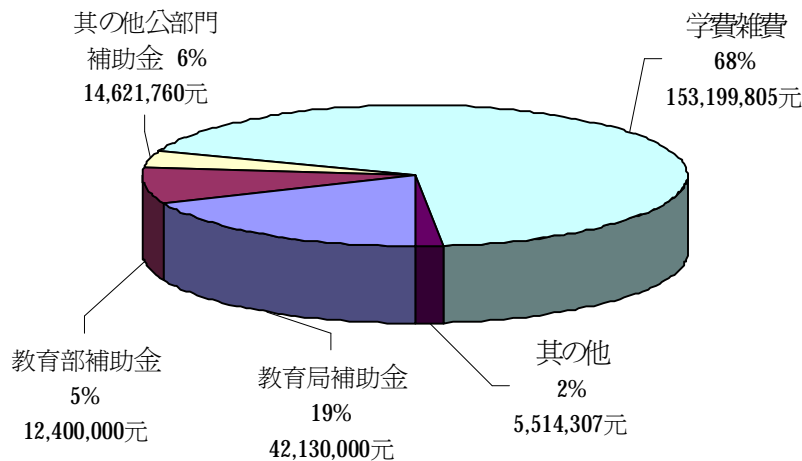
(十一) 学習認証について

- 1、単位や学位を授与せず、修業年限を設けず、正式なディプロマを発行せず、社区大学において履修し合格した科目は、各社区大学が各自で研習証明書を発行する。
- 2、公務員が社区大学の行う授業に参加して習得した課程は、「公務員生涯学習パスポート」〔公務員生涯学習護照〕に反映することができる。
- 3、講師が講師専門課程に参加すれば、講師の研修時間数とすることができる。

(十二) 運営資金

本市社区大学の資金は、主に四つの収入源からなる。2004年度を例にすると、社区大学運営資金は主に学習者から徴収した学習費や雑費からなっており、68%を占める。次に台北市政府教育局が提供した資金が19%、教育部の補助及び奨励金が5%、その他政府部門の補助金が6%を占める。

詳しくは図二の通り：



図二 台北市社区大学2004年度 運営経費主要來源分佈図

三、社区大学の公設民営方針を持続する

台北市政府が頒布制定した「台北市社区大学設置要点」第三条の規定により、社区大学は以下の方式により経営することが出来る。

- (1) 政府により選定された台北市管轄区内の学校または機関（機構）による経営（略称：選定経営）
- (2) 公私立学校、法律登記のある財団法人または公益社団法人への委託による経営（略称：委託運営）

台北市社区大学の主管機関は台北市政府であり、執行機関は台北市政府教育局である。台北市社区大学は歴年、公開選抜による運営団体の選定方式を採用し、資格審査と運営方案審査の二段階に分けて選定している。台北市社区大学の作業工程は、付表三の通りである。

表三 台北市社区大学委託作業手順

作業項目	作業工程説明と重点項目	依拠する法令と参考資料
台北市社区大学委託経営と管理	1、作業手順 (1) 社区大学実施要点及び経営実施要点等社区大学の関連行政規定の制定(修訂を含む) (2) 社区大学設置場所の評価 (3) 社区大学委託経営方案の説明会開催 (4) ネット上で委託運営団体の選抜を公告 (5) 委託運営団体の公開選定実施 (6) 落札者との契約締結 (7) 社区大学行政会議、教学検討会、交歓会、教学成果展覧、博覧会など各種会議及び活動の開催 (8) 経営委託団体への定期・不定期による評価および指導 (9) 社区大学の各種行政及び管理措置の検討、改善 2、重点項目 (1) 実際の執行状況に応じ、社区大学関連行政規定と評価基準を増加と修正 (2) 経営委託団体の運営状況を的確に把握し、経営委託団体の危機状況を適切に処理する	1、生涯学習法 2、台北市社区大学設置暫行要点 3、台北市社区大学委託経営実施計画 4、台北市社区大学選定実施計画 5、台北市社区大学委託経営公開評価選定公告 6、台北市社区大学評価作業要点 7、台北市社区大学委託経営契約書 8、台北市社区大学選定経営契約書

台北市2004年度の第一学期期と第二学期において、12箇所の社区大学課程履修人数は55,110人にのぼる。台北市政府教育局が2004年度に編成した社区大学予算は総計50,370,100元であり、平均して学習者一人あたり1000元の補助が提供され、5万5千人の民衆が生涯学習の喜びを享受し、民衆の公民素養を向上させ、ひいては社会の進歩を促進した。その経済効果には大きな価値があるといえる。

### 三、台北市社区大学課程の管理及び発展

#### (一) 開設される課程の比例設定

各社区大学の学術課程には学生があまり応募せず、生活技能課程の開設が高い比率に偏る傾向があり、また、台北市が社区大学を試行した時期に「台北市には既にたくさんの生涯学習機構があるのに、なぜまだ社区大学を設立して資金補助をする必要があるのか」と

いう反対の声が社会から挙がったこともあり、本局は2001年3月に「台北市社区大学開設課程規範及び注意事項」を制定し、社区大学の設立初期の生活技能課程の比率を最高50%に抑え、年毎にその比率を下げ、学術性・サークル活動の課程比率を毎年増加させ、民衆の公共性課程への参加意欲を促すことを課程計画の最終目標とした。生活技能課程の比率設定は以下の通り：50%以下（設立1年目）、45%以下（設立2年目）、40%以下（設立3年目）。その実施状況は社区大学評価の際の参考指標になる。

## （二）開設課程の制限

台北市政府教育局は社区大学の課程規範について、開設課程の分類比例に制限を設けるほかに、2003年11月に「台北市社区大学開設課程規範原則」を制定し、社区大学で開設される課程内容及び使用される課程名称などに禁止規範を設け、2004年度第一期から実施することを決定した。

- 1、課程内容及び名称は公序良俗に反してはならない。
- 2、課程内容は関連法令に抵触してはならない。
- 3、医療行為に抵触してはならない。鍼灸、刀療、整体、整復、催眠、指圧、マッサージ、按摩などに関連する課程を禁止する。
- 4、占い、八字、風水、姓名判断、易経、星占い、人体科学超能力、気功などに関連する課程を禁止する。
- 5、開錠に関する課程を禁止する。

## （三）現代公民講座〔学程〕

### 1、現代公民講座の導入

台北市政府教育局は社区大学が「現代公民の育成」という理想目標を達成することを促進する為、現代公民講座を導入し、2001年5月に「台北市社区大学学程開設法（草案）」を制定し、2001年8月に「台北市社区大学現代公民講座検討会」を開いた。台北市社区大学は2003年の運営委託契約書の中で「台北市社区大学は民衆に人文素養、生活知能、社会の健全な公民を育成する生涯学習過程を提供し、市政発展の需要に合わせて現代公民講座を開設すること」と規定した。

現代公民講座の内容には：台北学講座、父母学講座、国際事務講座、社区成長講座、環境講座、現代公民素養講座、ボランティア講座、非営利組織講座が含まれる。教育局が計画を担当し、各社区大学が各講座の学生募集をし、各社区大学が開設する講座を選択し、そして民衆が履修選択する。2002年度第一期から推進に力を入れ始め、各社区大学の義務開設課程となり、毎年各社区大学は40の現代公民課程を開設することで社区大学計画性課程の経費補助の対象となる。

### 2、現代公民講座週間の設定

台北市社区大学の毎期の授業週数は18週だが、各期の第9週目を「現代公民講座週間」と設定した。この一週間には全ての課程の授業を一時停止させ、八大講座に属する関連課



程及び公共論壇課程を新しく選んで社区住民及び社区大学学生に自由に参加させる。参加者は1つ以上の課程を選択し、その週の出席記録とする。これにより参加者の公民素養課程に対する認識を深め、今後の現代公民素養関連課程の比率を上昇させる。士林社区大学の2002年第2期現代公民講座週間を例に挙げると、計35の課程を提供し民衆に選択させた。参加人数は5000人にのぼり、その期の学生人数をはるかに越えた。

2004年度第1期の現代公民講座週間においては、台北市政府警察局各分局の刑事部長が各社区大学へ赴いて「次に新しくなる詐欺手段に対する市民の自己防衛」を講義した。国税局からも講師を派遣し「ネット上で税申告GOGOGO」という授業をした。2004年度第2期には更に消防局、労働局、税務署、慢性病防治院、交通大隊、衛生局などの台北市政府関連組織が社区大学の講師として参加した。2004年度第2期12箇所社区大学現代公民講座は、合計388科目の課程を、正規学習者及び学習者ではない一般民衆に提供し、19,901人(回)の履修参加人数に達し、より多くの市民に現代公民講座の課程に触れさせることができたのである。

五、社区大学関連行政規定の制定は、本市社区大学の業務処理の根拠となるだけでなく、他県市の模範となる。

- 1、(1999年7月)台北市政府社区大学試行運営実施要点
- 2、(1999年7月)台北市政府大学専門学校または民間団体への社区大学委託運営実施計画
- 3、(1999年7月)台北市社区大学の専科校または民間団体委託経営契約書範例
- 4、(1999年7月)台北市社区大学委託経営方案公開選抜方法
- 5、(2000年6月)台北市社区大学評価要点
- 6、(2000年7月)台北市社区大学設置自治条例(草案)  
(＊生涯学習法頒布後、市議会により撤回する)
- 7、(2001年3月)台北市社区大学課程開設規範及び注意事項
- 8、(2001年5月)台北市社区大学学程開設方法(草案)  
(2002年6月)中央政府、生涯学習法公布
- 9、(2002年11月)台北市社区大学設置暫定要点
- 10、(2002年11月)台北市社区大学委託経営実施計画
- 11、(2002年11月)台北市社区大学委託経営契約書範例
- 12、(2002年12月)台北市社区大学委託経営公開選抜公告
- 13、(2003年1月)台北市社区大学選抜方法実施計画
- 14、(2003年1月)台北市社区大学2003年度公開選抜公告
- 15、(2003年7月)台北市社区大学研修証明書作業規定
- 16、(2003年11月)台北市社区大学評価作業要点
- 17、(2003年11月)台北市社区大学課程開設規範原則

- 18、(2004年5月) 台北市社区大学学費標準及び学費返納規定
- 19、(2004年10月) 台北市社区大学2004年度評価作業要点
- 20、(2005年4月) 台北市社区大学優秀課程選評実施計画
- 21、(2005年5月) 台北市社区大学設置方法(草案)
- 22、(2005年5月) 台北市社区大学講座開設作業要点(草案)

六、指導と評価を重視し、社区大学の専門化への発展を図る

- (一) 毎年多くの社区大学会議を開催し、コミュニケーションルートを強化する。
- (二) 社区大学間の連携関係を強化し、行政人員及び講師の研修を重視する。
- 1、(1998年7月)「台北市社区大学設置規範研究及び試行計画」の委託研究を実施
- 2、(1999年12月)「台北市・2000年に向けた社区大学シンポジウム」実施
- 3、(2000年8月) 台北市社区大学教学研修大会実施
- 4、(2000年8月)「台北市社区大学教学理念と実務」(一)(二)を発行
- 5、(2001年6月) 台北市6箇所の社区大学座談会を実施
- 6、(2001年8月) 台北市社区大学現代公民プログラムシンポジウムを実施
- 7、(2002年4月)「台北市社区大学とは何か」を編纂発行
- 8、(2002年5月) 第一回台北市社区大学行政人員研修大会を開催
- 9、(2002年7月)「台北市社区大学経費運用の調査分析」  
及び「台北市社区大学評価基準の設定」委託研究を実施
- 10、(2002年8月) 台北市社区大学2002年度講師研修大会を開催
- 11、(2003年3月) 台北市12箇所の社区大学連合学生募集博覧会
- 12、(2003年4月) 第5回社区大学全国シンポジウムを共同開催
- 13、(2003年4月)「世界読書週間台北市シルバー市民学習感想交換会」開催
- 14、(2003年9月)「自覚から行動へー文山社区大学人の啓蒙物語」発行
- 15、(2003年10月) 台北市社区大学婚前教育学習列車 開催
- 16、(2004年2月) 台北市社区大学第2回行政人員研修大会 開催
- 17、(2004年3月) 台北社区大学連合ロゴマーク選定活動
- 18、(2004年3月) 台北市社区大学「2100社区大学開講」放送学習列車 実施
- 19、(2004年6月) 台北市社区大学第一回アイデア教学展覧シンポジウム 開催
- 20、(2004年10月) 台北市社区大学市政発展とボランティアシンポジウム 実施
- 21、(2004年10月) 台北市社区大学第一回台北学學術シンポジウム 実施
- 22、(2004年12月) 中華民國社区教育学会と共に、兩岸社区大学経営理念及び実務運営シンポジウムを開催
- 23、(2005年1月) 2005年台北市十二所社区大学課程博覧会 主催
- 24、(2005年3月) 2005年「2100社区大学開講」放送学習列車 実施

25、(2005年4月)台北市社区大学2005年行政システム及び会計作業の情報化研修を主催

26、(2005年4月)社区大学永續經營研究サークルを設立

27、(2005年6月)2005年台北市社区大学優秀課程見学研究シンポジウム

28、(2005年7月)2005年台北市社区大学日本生涯学習施設考察旅行

(三) 厳しい評価システムで、運営品質をコントロールする

1、評価目的：

社区大学の運営効果を知るために、本局は社区大学の自我評価及び学者専門家の訪問評価を通して、問題を発掘する。そして指導・改善し、社区大学問題の解決に協力し、成績優秀な社区大学を奨励し、社区大学の運営効果を全面的に向上させる。

2、管理方法：

毎年、評価要点と評価指標を修訂し、評価を実施する。評価成績の低い者については、次段階の評価システムを設けている。

3、評価項目：

2003年度評価項目は、組織と運営、課程と教学、講師と行政人員の雇用、社区奉仕、環境と設備、財務計画、カウンセリングとサービス等の7大項目である。2004年度評価項目には「情報化管理」の項目を加え、前述と合わせた8項目を、「行政運営及び情報化管理」(25%)、「課程教学及び研究発展」(25%)、「学習者サービス及び社区参加」(25%)、「財務管理及び環境設備」(20%)、「特色及びその他」(5%)の五大項目を評価指標とし、それに百項目に及ぶ評価内容を加え、各社区大学に業務を怠らせず、以って12箇所の社区大学運営をより制度化、専門化に向けて発展させる。

### 参 社区大学が台湾社会生涯学習の新しい文化を作り直す

筆者は台北市政府教育局社会教育科に勤務し、10余年来ずっと、台北市成人教育の計画と実施に携わってきた。業務内容と期間は、成人基本教育研修クラス(8年)、社区家庭教育(6年)、学習型家庭(2年)、成人職業教育クラス(7年)、紳士学苑クラス(2年)、社区大学(6年)など各種成人教育である。その結果、「社区大学」が一番市民の信頼を受けている生涯学習機構であり、全国民の素質向上を促進し、社会の進歩を促す効果があると深く感じた。

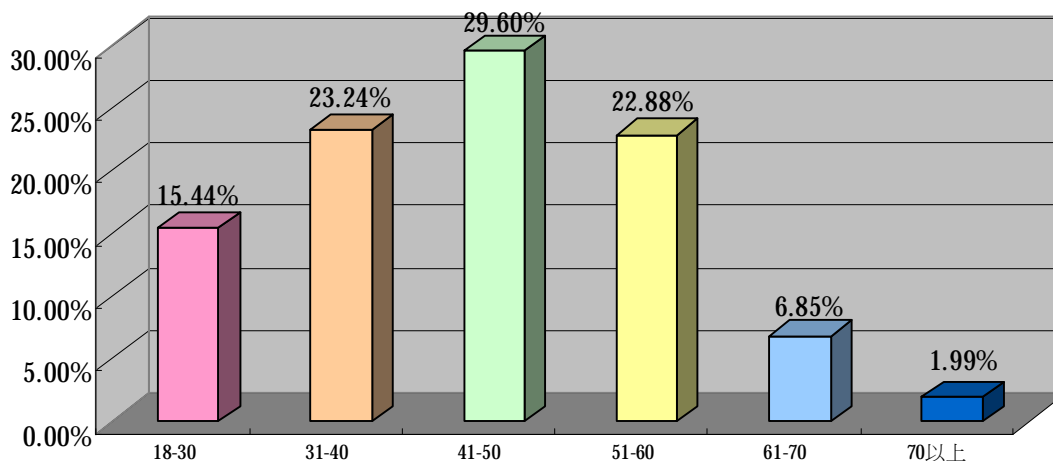
一、台北市社区大学の位置づけは生涯学習機構である

台北市政府は最初から社区大学をいわゆる「生涯学習高等教育機構」ではなく生涯学習機構と位置づけている。ゆえに台北市政府の規定には、台北市管轄区内の社区大学(原住民部落大学を含む)は正規教育の学校ではなく、その主管は「校長」ではなく「主任」と呼ばれ、単位や学位を発行しない生涯学習機構であると明文化されている。

現在「生涯学習法」は社区大学の位置づけを生涯学習機構としているが、社区大学が学位証明を発行できるかどうかについては今までの全国社区大学シンポジウムにおいて侃諤のテーマである。各縣市社区大学が発行している証書はさまざまで、多くは単位証書、研修証明書、修了証書、講座証書、卒業証書などである。実際にはこのような単位を教育部は承認せず、ただ学生の学習経歴となるだけである。筆者は、社区大学の長所はさまざまな柔軟性に富む空間を持つことだと認識している。社区大学が学位を発行できる機構になったとしたら、主管の学歴や学生の入学条件、講師の資格を制限しないなどといった現在の制度や、多元化した課程編成などの柔軟さは失われてしまう。

本市社区大学の学生募集対象は、18歳以上の民衆であれば学歴や戸籍は問わない。学生の年齢分布は40歳以上が63% 社会人77% 大学専門学校以上の学歴を持つ者は53.35%である。この3つの数字から見ると、台北市社区大学の学生は社区大学が単位を発行するかどうかに関してはあまり気にかけていない。

2004年度学習者年齢層分布比率図



2004年度社区大学学習者 職業/職種 比率



本市社区大学は力を惜しまず「生涯学習」、「学習社会」を推進し、長年の努力の末に成人が生涯学習に参加するという社会価値観及び社会のネットワークを作り上げ、市民が生涯における学習能力を発展させる最大なファクターとなっている。そして社区大学は既に台湾における生涯学習の文化の一角を占めている。台北市は今般の生涯学習のグローバルな流れに乗り遅れずに市民の基本的な学習需要を満足させ、同時に社会変化に順応しかつ創造的マンパワーの21世紀国際公民を育む。

## 二、社区教育理念を実践し社区文化の精神の堡壘とする

社区大学は社区を拠点にし、学習者が自我と社会との関係を認識するための窓口を提供し、公共的な実践を重視し、学習と相互働きかけを強化する。ゆえに社区大学が発揮する教育的機能は社区から出発し、社区で実践し、住民と社区を連結するネットを作りあげる。例を挙げれば、文山社区大学の景美溪エコロジー工法補修などの他項目にわたる学習議題、中正社区大学の「二次環境保護－台所からのリサイクル」ゴミ減量公共フォーラム、萬華社区大学の積極的な社区地方史調査作業の参加、北投社区大学の北投社区营造推進計画、南港社区大学の茶山人文及びエコロジー入門、松山社区大学の社区緑化と人文入門、中山社区大学の社区医療防護ネット設立などから、本市社区大学が社区教育を推進する努力をみることができる。

また、本市社区大学課程は多元的であり、各分野の講師が豊富に揃い、学習者も多い。よって本市各区の公共機構が大型のイベントを実施する際、一番先に思いつく協力運営先は、各行政区の社区大学である。本市社区大学は社区経営において、弱者への思いやり、社区展覽活動、現地の解説などの社区奉仕以外に、社区の理想を結合し、社区の特色を前面に出し、社区の人材を育成し、まちづくり〔社区营造〕行動を積極的に推し進めること

を強調している。それゆえに本市の社区大学は社区文化の精神の堡壘という呼び名に恥じないものである。

### 三、公民関連課程を導入し、公民教育の結果を発揮する

社区大学の経営者は公益団体が大多数を占め、社区大学課程の開設は生活技能内容に限らず市政発展、社区建設、公共衛生などに関する課程もどんどん増えている。社区大学における公共議題の開発は、学習者が公共議題に対する関心を持ち、討論を経て公共の世論を形成していくことを導く。

社区大学の公共事業への参加には、地方史の調査と編集、環境防災の推進、区役所や社区団体との協力による社区公共事業への参与などが含まれる。公共議題への実際の参与例を見てみると、「ゴミの戦火が蔓延する時-焼却炉神話を読み解く」(文山社区大学)、「街区再生工程」(萬華社区大学)、後山埤健康エコロジーまちづくり(南港社区大学)、防疫ワークショップ(大同社区大学)、台北雨蛙エコロジー環境運動(信義社区大学)、永続的な台湾・北投への愛(北投社区大学)、安全な社区と健康な都市促進委員会(内湖社区大学)、古跡の旅-時空を越えて台北を発見する(中正社区大学)等、これらはより多くの学習者に公共事務の学習を参与させることができた。

本市の社区大学では、毎学期の第9週を「現代公民講座週間」と統一し、公民教育課程を推進している。社区大学と市政府の各部門の連携は日ごとに密接になり、教育局以外にも衛生局、社会局、発展局、消防局、環境保護局、文化局、警察局等とも共同で教育活動を行っている。台北市においては既に、社区大学が公民社会を推進する基地となってきた。

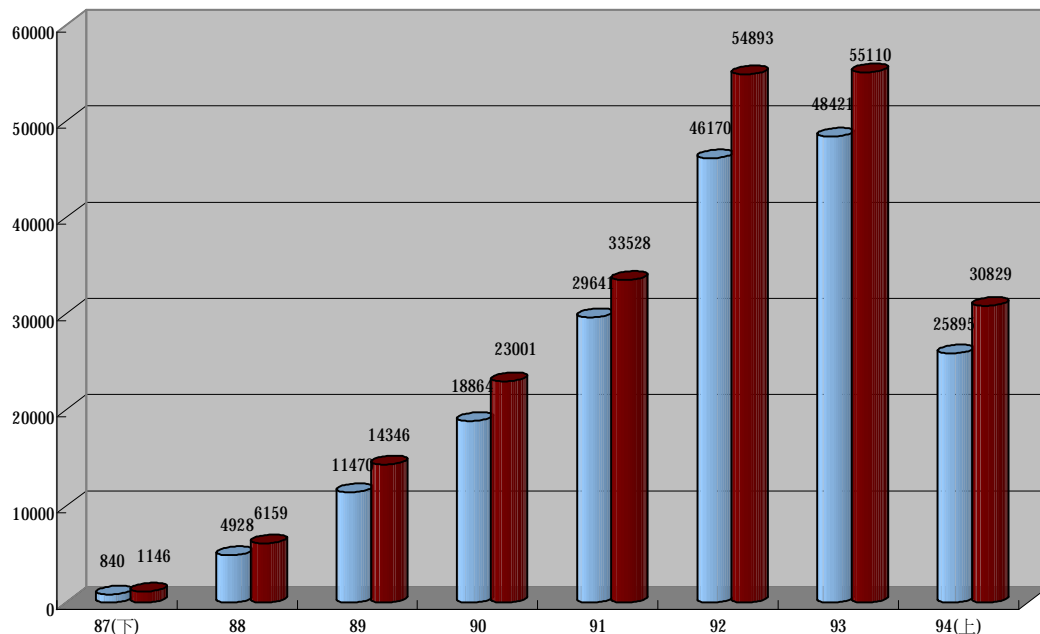
### 四、公部門と私部門との協力関係を作り、民間の活力を導入する

生涯学習法第四条第五項では「社区大学とは、正規教育体制外で、直轄市、県(市)の主管機関が自ら或いは委託して運営し、社区住民に生涯学習を提供する学習機構である」と規定されている。よって、現在台湾における社区大学はその大部分が各県市政府の委託運営に属しており、県市政府の自主運営はその次に多い。地方政府は莫大な生涯教育経費を使い、社区大学を設立し、大部分は民間団体に経営を委託している。台北市を例に挙げれば、本市における12校の社区大学は1つの社団法人、11の財団法人(私立高級職業学校3校を含む)によって経営されている。

社区大学は民間団体・地方組織・住民間の繋がりを作るだけでなく、政府機構と民間のパワーを融合するための舞台という役割も担うことが出来る。政府機構と民間団体は、平等互惠、共同参加、責任分担の原則のもとで初めて持続的な協力関係を作り上げることができる。

現在わが政府では財源や人材等の要因から、さまざまな業務について公設民営方式の採用を検討している。社区大学の公設民営方式採用には、民間企業の経営理念や向上心、効

率化の概念や多面的な教育理念を取り入れている。学習者数は毎年増加し、7年間12期の累計学習者人数は合計219,012人(回)に達した(図六参照)。社区大学は台北市においてすでに市民に最も信頼される生涯学習機構となり、公設民営の模範の成功例と言えよう。



図六 台北市社区大学例年学習者人数一覧表

#### 五、マイノリティーへの思いやりを發揮し、社区の互助精神を高める

台北市の社区大学12校では、原住民・低収入家庭・障害者・外国人配偶者などの民衆に対し学費の優遇措置が設けられており、マイノリティーが社区大学の学習活動に参加する権益を保護している。またマイノリティーの学習に対するニーズに合わせた課程を開設している。例えば知的障害学習者両性ワークショップ(文山社区大学)、うつ病を乗り越えよう(南港社区大学)、特殊身体ダンスクラス(大同社区大学)、精神疾病現代観点(北投社区大学)、外国人花嫁社区成長クラス(中山社区大学)、手話コミュニケーションと聴覚障害者のためのコンサート(中正社区大学)、パソコンと生活のシルバークラス(大安社区大学)、老人ホーム訪問サービス(内湖社区大学)、一人暮らしお年寄りを支えよう(萬華社区大学)等、マイノリティーを思いやる課程を開設している。そのうえ社区奉仕を通して社区マイノリティー思いやりネットワークを実現させ、政府の福祉社区化を社区の隅まで浸透させる。

台北市における社区大学1校あたりの規模は学習者数1500人から4000人と幅があり、専業兼業職員は僅かに5人から12人で、人手不足の状況のもと行政運営は熱心な講師や学習者の力に頼るしかない。それ故台北市ではどの社区大学でも積極的にクラス業務助手、ボランティアサークル、愛の心大使奉仕隊、校務発展委員会などを設立し、講師

と学習者の自発的ボランティア、社区互助の精神を向上させている。社区大学の講師と学習者による熱心な校務及び社区ボランティア参加は、社区大学がもたらした生涯学習の新しい文化といえよう。

#### 六、クラス運営を重視し、教えと学びの相互関係を創造する

台北市社区大学の上期学習者平均出席率は約70%で、50%の学習者が下半期の課程を履修し続ける。学習者の高い出席率と参加率を維持するためには講師の良質な学級経営が不可欠である。

- 1、学習者同士が緊密な関係を作ることを奨励し、仲間意識と学習への動機を高める。
- 2、相互の信頼感を醸成し、学習者と講師が共に成長し、喜んで分かち合う精神を強調し、師でもあり友でもあるというような関係を作る。
- 3、講師は学習者の中から公民社会的な方式によってクラス代表、副代表、学芸長、衛生長、総務長を選出することを指導する。また学習課題においても3、4つのグループを作り、情報の収集と処理を学習させる。各グループの相互働きかけの中から学習者が互いを知り、向上心を持ち、学習を継続する動機を形成し、学習目標に到達させる。
- 4、電子メールを活用して学習の体験を分かち合い、情報を交換する。
- 5、欠席者がいるときは組長、班長、講師が積極的に学習者に働きかけ、学習を続けるよう励ます。
- 6、毎学期の学習成果博覧会の発表と社区活動への参加を通して、学習の新しいエネルギーと社区互助の精神を生み出す。

総じて言えば、台北市の社区大学は有効的なクラス経営により、市民が生涯学習の習慣を持たせることに大きな助けとなっている。

#### 七、学校、家庭、社区の三者間の信頼関係を強化する

台北市政府教育局は、12箇所の中学校・高校（職業学校）を社区大学設置地点とし、資源を共同使用する形で運営している。昼間は中高生の教室として、夜は社区大学成人学習者の学習場所として使われている。

社区大学設置地点が正規教育の学校キャンパスであることから、学生の保護者、社区居民衆、講師がみな生涯学習の行列に加入し、社区大学と正規学校の相互関係が正規教育にもある種の変化をもたらしている。例えば、学校の社区教育に対する重視や学校における父母教育が更に強化されたり、学生の保護者が学校に対してより多くのコミュニケーションと理解を持ったり、社区大学の学校に対するソフト・ハード面での還元など、これらは全て社区大学が正規教育にもたらしたプラス効果である。

#### 八、社区大学は社区新聞を発行し、講師・学習者と社区間の働きかけあいを増加させる

台北市の社区大学は安定した運営のもと、豊富なキャンパス文化を作り上げ、社区活動



の推進と結合し、社区と緊密に連携している。現在、12校の社区大学全てが各自で社区報を発行しており、種.多様な活動内容を報道している。発行頻度は隔週、月一回、季刊と異なるが、掲載内容は公民フォーラム・キャンパス活動、課程紹介、講師と学習者の広場・社区活動参加など多岐に渡る。発行部数は3000部から5000部前後で、知識や世論の形成、学習モチベーションの強化、キャンパス文化の保存に対し大きく貢献している。本市社区大学12校が発行する社区報の名称は以下の通り：

付表六 台北市社区大学社区報一覽表

番号	社区大学名称	出版物名称
1	文山社区大学	文山社区大学学程通信
2	士林社区大学	犁報
3	萬華社区大学	艋舺伝記
4	南港社区大学	南港社区大学報
5	大同社区大学	大隆同庄
6	信義社区大学	信義社区大学社区報
7	北投社区大学	北投社大報
8	内湖社区大学	内湖社大社区報
9	松山社区大学	松山社大社区報
10	中山社区大学	中山社大社区報
11	中正社区大学	中正社大社区報
12	大安社区大学	大安社区報

本市社区大学12校では社区報以外にもメールマガジンを発行し、社区大学の学習資源と成果をインターネットにより多くの市民と分かち合っている。

#### 肆、台北市社区大学将来の発展

##### 一、研究発展を重視する

台北市は現在各行政区にそれぞれ一箇所の社区大学を設けており、量的においては既に設置目標に達した。今後質的な向上においては、緻密化、卓越化、テクノ化、創造的なのを追求し続けなければならない。本教育局はその発展の早い段階で社区大学推進委員会を設立した経緯があり、現在では頻繁に行政会議の開催、シンポジウム、課程博覧会、課程審査会議、評議会、委託研究、講師及び学習者アンケート、遠隔学習課程の製作等各種の方法を通して、本市社区大学の更なる発展を促し、市民生活品質の向上及び社会の進歩をもたらす。

##### 二、昼間に使用可能な学習空間を増設する

本市社区大学の授業教室は中学校、高校（職業高校）と共に学校の資源をシェアするため、独立した学習空間を持たず、授業時間は多くが平日の夜間、及び土曜日午前か午後であり、幼児を抱える専業主婦や高齢者の学習参加には適しておらず、よってその両者の学習人口を増やそうとすれば、平日昼間の授業空間を提供しなくてはならない。現在本市の

いくつかの社区大学は市立図書館分館及び学校教室を学習者の授業空間として利用している。今後、市政府は場所を探し、昼夜共に社区大学が利用できる市民の生涯学習空間を企画する。

### 三、各社区大学にそれぞれの特色をつくらせる

本市社区大学は本局評価制度の監督のもと、行政及び教学のシステム化及び情報化、課程の計画及び研究発展、学習者サービス及び会計制度化の経営モデルは全て一定の水準に達している。本局は各社区大学にそれぞれの社区文化に応じて、独自の特色を発展させ、課程、講師、学費雑費減免措置、社区及びボランティア育成、公共議題の設定等を含むことを奨励する。

### 四、インターネット学習の環境を提供し、市民の生涯学習機会を増加させる

台北市には現在12校の社区大学があるが、どの社区大学も自分のホームページを持つだけでなく、台北市社区大学総合ページという総合ホームページもある。民衆は12校の社区大学の運営団体、場所、連絡先、メールアドレスや開設課程などの関係資料を探したり、学習者募集要項を印刷したりすることができる。

台北市政府教育局は2002年度から積極的に社区大学の学習ウェブサイトの製作を進め、2003年度に12校の社区大学を一気に設立した後、同年3月1日から台北市社区大学総合ページを作り、市民が社区大学12校のホームページを検索して課程、講師、出版物を調べたり「2100社大開講」放送授業を聴いたり、社区大学の紹介番組を見られるようにした。また、このホームページを通じて英語、日本語、パソコンなどの課程を学習できるように計画しており、サイト開設以来(1年6ヶ月)の利用人数は219,575人に達している。

本市社区大学はそれぞれホームページを持ち、最新情報や開講情報を検索でき、また教学成果の写真、ネット上の学習ページ、メールマガジンの登録や閲覧ができる。

台北市政府教育局はネット学習環境の提供に力を惜まず、市民に迅速に学習情報を提供するだけでなく、市民が台北市社区大学総合サイトを通じて数百種類に上るラジオ番組を聴くことができる。本局は英語、日本語、パソコンなどの学習機能を提供し、市民の生涯学習機会を増やし、生涯学習の人口を増加させたいとしている。

表四 台北市社区大学社区新聞一覧表

	社区大学名称	ホームページ
1	台北市社区大学総合ページ	<a href="http://www.ccwt.tp.edu.tw">http://www.ccwt.tp.edu.tw</a>
2	台北市文山社区大学	<a href="http://tcu.taconet.com.tw">http://tcu.taconet.com.tw</a>
3	台北市士林社区大学	<a href="http://www.tscc.org.tw/">http://www.tscc.org.tw/</a>
4	台北市萬華社区大学	<a href="http://www.wanhwaco.org.tw/">http://www.wanhwaco.org.tw/</a>
5	台北市南港社区大学	<a href="http://www.nangang.org.tw/">http://www.nangang.org.tw/</a>
6	台北市大同社区大学	<a href="http://www.datong.org.tw/">http://www.datong.org.tw/</a>

7	台北市信義社区大学	<a href="http://www.xycc.org.tw/">http://www.xycc.org.tw/</a>
8	台北市北投社区大学	<a href="http://www.btcc.org.tw/">http://www.btcc.org.tw/</a>
9	台北市内湖社区大学	<a href="http://www.nhcc.org.tw/">http://www.nhcc.org.tw/</a>
10	台北市松山社区大学	<a href="http://www.sscctpe.org.tw/">http://www.sscctpe.org.tw/</a>
11	台北市中山社区大学	<a href="http://www.zscc.tp.edu.tw/">http://www.zscc.tp.edu.tw/</a>
12	台北市中正社区大学	<a href="http://www.zzcc.org.tw/">http://www.zzcc.org.tw/</a>
13	台北市大安社区大学	<a href="http://www.daan.org.tw/">http://www.daan.org.tw/</a>

#### 五、台北市原住民部落大学の永続的な発展に協力する

全国の社区大学は中央政府と地方政府の重視のもと、7年間に最初の一箇所から、80余箇所まで増設し、辺鄙な地域や原住民部落にも普及させ、原住民部落大学を設立した。原住民部落大学の成立は、原住民に教育という方法を通して、その文化、伝統、歴史、尊厳と多様性を適切に反映させることができる。

本市教育局は12箇所の社区大学を運営するほか、2005年度以後は予算を立て、原住民部落大学の発展に協力する。将来は引き続き原住民部落大学以外にも、更に原住民教育講師育成の講習、遠隔教育教室〔行動教室〕、原住民文化活動、テーマ講座等の協力を通して、部落教育を改善し、原住民全体の文化教育水準を向上させる。

#### 六、国民の生涯学習を先導し、全国民の素質を高めることを努力発展の目標とする

社区大学が標榜している「学歴及び戸籍制限を設けず」という門戸開放政策は全国民教育の最良なかたちである。社区大学は多元的な課程、安心できる学習環境、安価な学費、多種多様な学習成果博覧会などにより学習機会を提供し、学習者数の大幅な増加を促した。将来は「公共テレビ」（訳注：台湾でNHKのような良質な番組を提供するテレビ局）のイメージをもつことができれば、1、非営利の考慮2、学術的な課程の増加3、課程の公共性4、課程内容と社区ニーズの合致5、次なる社会発展の需要に符合する6、社会の価値観をリードする7、マイノリティーの学習需要を充たすことを訴求として、更なる深度をもつ文化的な課程及び公民素養の課程を企画し、全国民の素質を高めることが、社区大学経営者が努力し追及すべき方向である。

### 伍 結語

社区大学が一般の習い事、社会教育機構や大学拡張教育と異なる最大の点は、「現代的公民の養成」を運営目標におき、知識の伝達と公民の成長という使命を重視し、学術的な課程とサークル課程の開設を奨励し、学習者の社区に対する関心と公共活動に参加する能力を養成することである。理想と現実にはまだ落差があることは否めないが、教育事業とはすなわち理想を追求する生涯学習の場所であり、暖かく安全な学習環境、廉価な学費、学習者のニーズへの考慮、社区資源の統合など様な条件の下で、社区大学は台北市民の生涯学習機構の中でも最も社区化、大衆化している生涯学習機構といえよう。

本市社区大学は、本局及び社区大学を運営する民間団体の共同努力のもと、7年の歳月を経てようやく具体的な成果を挙げている。例えば、政府の経費補助の増加や社区大学設

置数と学習者人数の大幅な増加を含め、社区教育はしっかりと根を張り、社区の互助精神が向上した。これらの成果は社区大学運営スタッフの昼夜を問わない熱心な働きに置くところが多く、社区文化の質を向上させている。まさに馬英九市長が第五回社区大学全国シンポジウム開幕の挨拶で述べたように、台北市社区大学の任務は知識の伝達のみならず、社区の改造を更に推し進め、都市の発展をリードすることである。社区大学は台北市市民の心の中にすでに良いイメージを確立しており、台北市における社区資源を統合するプラットフォーム及び市民の知識とところにおける補給ステーションとなっている。

以上のように、台北市社区大学が発展してきている現在、その運営は（1）人文的素養を豊富にさせ、心身ともに健康な公民を育む（2）地域の特色を重視し、社区文化の理想を創る（3）社区意識をまとめ、社区のリーダーを育てる（4）マイノリティーを思いやり、学習資源を提供する（5）グローバル化に応え、市民の国際的視野を広げる、この五つの方向に向けて努力する。

将来、台北市社区大学は社区の文化に根を下ろし、現代公民を育み及び市民の国際的視野を広げることを目標とし、市民にとって安全で快適な、大衆化された全国民の生涯学習環境をつくりあげていく。

#### 参考文献

- 1、蔡傳暉、顧忠華、黃武雄、楊碧雲等（1999）、台北市設置社区大学規劃研究暨試辦計畫、台北市政府教育局委託。（未出版）
- 2、楊碧雲（1999）、台北市生涯學習運動之推展、社會教育學刊第28卷、國立臺灣師範大学社會教育系出版。
- 3、楊碧雲、蔡傳暉、李鴻瓊主編（2000）、台北市社区大学教學理念與實務運作（一）、台北市政府教育局、臺北。
- 4、楊碧雲、蔡傳暉、李鴻瓊主編（2000）、台北市社区大学教學理念與實務運作（二）、台北市政府教育局、臺北。
- 5、楊碧雲主編（2002）、台北市社区大学是什麼？台北市政府教育局。（未出版）
- 6、楊碧雲、蔡傳暉、張瓊齡主編（2003）、從自覺到行動－文山社大人的啓蒙故事、台北市政府教育局、臺北。
- 7、楊碧雲主編（2003）、台北市社区大学2003年度營運報告摘要、台北市政府教育局。（未出版）
- 8、楊碧雲主編（2004）、台北市社区大学2004年度營運報告摘要、台北市政府教育局。（未出版）
- 9、楊碧雲（2004）、社区大学重塑臺灣社會生涯學習的新文化、2004年生涯學習國際學術研討會會議手冊、國立中正大学成人及繼續教育系編印。
- 10、楊碧雲（2004）、臺北學推動的方向、北投文化雜誌季刊第9期、台北市北投文化基金會編印。

- 1 1、台北市政府教育局（2004）、台北市社区大学Q & A。（未出版）
- 1 2、台北市政府教育局（2004）、台北市社区大学第一屆創意教學觀摩研討會會議手冊。（未出版）
- 1 3、台北市政府教育局（2004）、台北市社区大学第二屆行政人員研習營會議手冊。（未出版）